

アポロニア21 12

Dec. 2022, No.348

生きた歯科情報を伝える。 医院経営・総合情報誌



特集 多角化する小児歯科

口腔育成から心身発達支援へ

- 【産後支援型助産院と連携! ●酒井啓介】
- 【小児専門じゃなくても親子が集まる医院づくり ●上野清香】
- 【小児歯科マネジメントで注目の本5冊! ●編集部】

特別企画

樋田秀一

最旬バズり院長が教える
予防歯科の経営テクニク

Q&A

レポート 患者別の動画で来院促進 ●石井宏明



| | | | |
|--|---|-----------|----------------|
| 特集 | 多角化する小児歯科 | | |
| | 口腔育成から心身発達支援へ | | |
| | 酒井啓介／上野清香／編集部 | | 55 |
| 特別企画 | 最旬バズリ院長が教える 予防歯科の経営テクニックQ&A | 樋田秀一 | 78 |
| レポート | 「戦略的提携」で経営の「助っ人探し」 | 松井 聡／円谷修平 | 84 |
| | 「パーソナライズド動画」でキャンセル率ダウン・リコール率アップ | 石井宏明 | 90 |
| GP 論 | 臨床駅伝 こんな患者さんが来たら？ マウスピース矯正を行ったが、奥歯で咬めない | 江口祥生 | 24 |
| | 次世代に残したい 臨床アーカイブス ユニット、トリートメントセンター | 豊山洋輔 | 34 |
| Interview | 院長インタビュー 森 照朝（東京都・医療法人社団森和会 森歯科医院） | | 06 |
| | 他業界からのメッセージ 先生たちが作る、町の居場所カフェ | | 50 |
| リレーエッセイ | 一問一答・あの先生のライフスタイル 赤沼岩男（栃木県歯科医師会 会長） | | 12 |
| 経営 | DHレッスン Akaneにお任せ！ 上達するとカッコいい！ 口腔内写真撮影のキホン | 竹之内 茜 | 18 |
| | キレイ！効率的！クリニックの知恵 鴻池ファミリー歯科（大阪府） | 小原啓子／藤田昭子 | 20 |
| | しくじり院長が行く！ リクルーティングのポイント（4） | 根本章吾 | 28 |
| | チラ見せ・動画メディア「歯科ラジオ」 おいしい歯科医院 | 高野正博／山本達也 | 44 |
| | スタッフに教えたい経営の話 ユニット増設を前に、チーフが不在に!? | 濱田真理子 | 98 |
| | スタッフがモノ申す！ 院長の○×対応 大切なのは「知るための努力」! | 菅野愛弓 | 102 |
| | 物語で学ぶ労務管理 事後申告の有休は認めなきゃダメ？ | （南）人事・労務 | 104 |
| | 院長夫人の出番です！[リレー編] 幹部スタッフを育て、外から医院を支える！ | 白石美紀 | 108 |
| | 医療とお金の歴史 イノベーションのための医療制度？ | 水谷惟紗久 | 118 |
| | ドクター重田の個別指導塾 在歯総医、在歯管の注意 | ドクター重田 | 124 |
| エッセイ | | | |
| 身体がよるこぶ！ 還元クッキング 「中庸の食事」を意識しよう！ | 大友慶孝 | 42 | BOOK STAND 130 |
| DHアーヤの患者さんこんにちは！ 患者さんの喜び、悲しみと共に… | 古屋綾子 | 112 | GOODS BOX 134 |
| 世の中いたしたいのお みんな大嫌いな麻酔・抜歯 | GP 太郎 | 114 | ニュースボード 140 |
| 高村くるみ流人生相談室 両親に結婚を反対されたのは… 他 | 高村くるみ | 122 | 読者の声 156 |
| サカモッチィのサムシング き、君はエ○バナのか!? | 坂本光徳 | 123 | 広告掲載一覧 157 |
| toothsome君が行く！ 歯と神仏の旅 宮尾の阿弥陀像板碑（熊本県） | 福田直子 | 128 | バックナンバー 158 |
| From Dental Dealer's Opinion フェイク情報への注意と対応 | 山本恵三 | 129 | 編集後記 160 |

院長 Interview



子の目線から ひもとく 親子承継

医療法人社団森和会 森歯科医院
東京都大田区

森 照朝 氏

Mori Akitomo

1981年生まれ。2006年、東京歯科大学歯学部卒。07年、研修医終了。同年、現医院副院長、13年現職。07年日本顎咬合学会会員、09年AACD（アメリカ審美学会）会員。09～10年、明海・朝日・UCLA短期留学、歯周・インプラントベーシックコース修了。12年、日本顎咬合学会認定医取得。

スタッフ：歯科医師2人、歯科衛生士3人、
歯科助手1人

ユニット：4台

子どものころは、隈健吾さんのような建築家になりたかったという森氏。金髪のロン毛で過ごしていた学生時代に父から言われた一言で、歯科医師の道に進むことに。親子承継では古き良きものを残しつつ、効率的かつ合理的に採算良くDX化。コロナ禍では、受付や診療以外の業務を在宅で行えるようにした。

親子承継に際して解決の糸口になった考え方、スタッフとの関係づくり、歯科医院でも導入できる在宅勤務の内容などを伺った。

金髪ロン毛→歯科医師に

— 歯科との関わりは。

森 自宅近くの父の歯科医院に遊びに行くこともありました。物心つくころから、テレビ番組「渡辺篤史の建もの探訪」で紹介されていた「全国の素敵な住まい」を見るのが大好きで、将来は隈研吾さんのような独創的な建造物を創る建築家になりたいと思っていました。

ですが、建築士の仕事内容は多岐にわたり、

オリジナルの建造物を手掛けられるのは世界でもほんの一握りということが、中学生になるころには分かりました。

高校生のころは、俳優の木村拓哉さんの髪型がはやっていたので、まねして金髪のロン毛にして、服装にも気を使っていました。念願の彼女も出来て息巻いていると、母や兄弟からドラ息子扱いされるようになりました。思春期だったせいも何かと反発してしまい、叱られてばかりでした。

見かねた父から、「歯学部を受かったら好



■ 栃木県歯科医師会 会長

所属：栃木県歯科医師連盟会長、日本一般臨床医矯正研究会副会長、栃木県ボディビル・フィットネス連盟会長、日本一般臨床医矯正研究会 (J.O.S.G.) 宇都宮軍団代表

診療スタイル：子どもから高齢者まで診療する、地域密着のごくごく小規模な町の歯科医院。

生年：1956年

出身地：生まれは東京、育ちは栃木県宇都宮市雀の宮

出身校：日本歯科大学新潟歯学部

栃木県歯科医師会会長室にて。

第107回

赤沼岩男

Akanuma Iwao
先生

生活スタイル

平均睡眠時間は？

6時間。

一日の中で好きな時間は？

19時以降。

欠かさない日課や習慣は？

- ・起床直後のストレッチ
- ・毎朝の神棚への拝礼合掌
- ・午前と午後の診療前の逆立ち、30秒2回



コーヒーの香りが漂う店内。カウンターに並ぶケーキ類は全て手作り。

288 先生たちが作る、町の居場所カフェ

誰もが気軽に相談でき ほっと癒される場所を



Astral Ray Coffee

飯島翔子 氏

Iijima Shoko

学生時代に学んだ化学や認知心理学を生かし公立高校の教職に就くも、父の病気を機に辞職。その後、フリーで教育業を続け、現在はカフェ経営もしている。

芝田妙嘉 氏

Shibata Taeka

関東で保育士をしていたが、組織に属さずにもっと人に寄り添える方法を模索。辞職を機に奈良へ移住した。コーヒーや経営のことを学び、カフェを開業する。

高校教師と保育士だった2人が、教職を辞めて奈良の町の一角にカフェを開いた。現場では実践できなかった、悩みを抱える人たちに寄り添える形を模索したという2人に、オープンまでの経緯や、どのようなお客さんが来店するのか伺った。

特集

長い間、う蝕予防を主軸に発展してきた小児歯科。近年、口腔育成、機能訓練に軸足が移り、口腔機能発達不全症として一部は保険収載されています。

今後はさらに、心身の発達をサポートする役割が期待され、さまざまな連携・多角化の流れが見られる小児歯科の最前線を紹介します。

多角化する 小児歯科



口腔育成から心身発達支援へ

産後支援専門の助産院と連携する小児歯科

話し手：酒井啓介（愛知県・さかいこども歯科・矯正歯科）

悩める親子が集まる小児専門でない医院

話し手：上野清香（東京都・上野歯科医院）

小児歯科マネジメントで注目の5冊！

文・編集部

産後支援専門の助産院と 連携する小児歯科

ハビタウン フロアマップ



「ハビタウン」の概要図

「ハビタウン」とは、「親とこどもの成長を大きく支える、小さなまち」。天井の高い平屋建てにこだわり、情報発信の拠点となる「ハビルーム」を中心に、歯科医院と助産院が同居している。

この記事のポイント

「同じ建物の中」は国内初！

ライフコースに沿った予防・育成

「親子予防」はあえて避ける



●話し手：

酒井啓介氏

Sakai Keisuke

愛知県・
さかいこども歯科・矯正歯科 院長

●取材・文：編集部

最もハードルの高い案を採用

助産師である妻と、「子育て支援ができる

歯科医院と、産後支援専門の助産院のコラボができないか？」と考えたのは3年ほど前のこと。その後、妻は授乳支援に特化した助産院を先行して開業。私は勤務医をしながら以下の3つの開業プランを検討しました。

悩める親子が集まる 小児専門でない医院

デンタル
モンテッソーリ®

「HSP」
への対応



この記事のポイント

子どもの自発的な成長を促す

「励まし」「傾聴」が苦手な人もいる

ゴールを明確にするアプローチ



●話し手：

上野清香氏

Ueno Sayaka

東京都・
上野歯科医院 副院長・歯科衛生士
デンタル・モンテッソーリ® 提唱者

●取材・文：編集部

小児歯科マネジメントで 注目の5冊!



この記事のポイント

小児う蝕が減少し、主な対象が歯列不正、口腔機能発達不全などにシフト

小児歯科のマネジメントの多様化を反映した書籍に注目!

●文：編集部

医院見学に人気集中！最旬バズり院長が教える

予防歯科の 経営テクニックQ&A



医院見学は有料で、事前にセミナー受講が必須にもかかわらず、全国から見学希望が殺到している歯科医院があります。注目を集めているのは、ユニット7台、スタッフ約25人の横浜市の三ツ境駅前スマイル歯科。「仕組みづくりの天才」と噂される樋田院長に、予防歯科医院経営のテクニックを伺いました。



●取材協力：
樋田秀一氏
Hida Shuichi
神奈川県・
医療法人美顔を育む会
三ツ境駅前スマイル歯科
院長

●取材・文：編集部

「戦略的提携」で 経営の「助っ人探し」

戦略的提携とは？

事業を継続・強化するために、外部からのサポートを得て経営の構造を変えること。歯科医院の場合、診療と経営を分離して地域連携への体制づくりを目指すなどの事例がある。



地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、各地で医療機関の再編が進み始めています。そうした医療再編の中で、歯科医院の提携の意味合いも変化しています。経営を第三者の法人などに引き継いで、院長・理事長が長年培ってきた医療ノウハウを存続させ、さらなる浸透・拡大を図る「助っ人探し」の側面も大きくなっているのです。



●話し手：

松井 聡 氏 (左)

Matsui Satoshi

M&Aキャピタルパートナーズ㈱ 企業情報部 次長

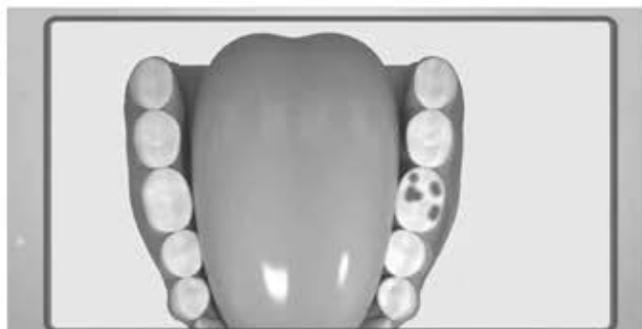
円谷 修平 氏 (右)

Tsiburaya Shuhei

M&Aキャピタルパートナーズ㈱ 企業情報部 主任

●取材・文：編集部

「パーソナライズド動画」で キャンセル率^{ダウン} リコール率^{アップ}



経年的に口腔内の環境が変わってきますので、定期的にかみ合わせのチェックをしていきましょう

治療が必要な回数

3-5

さて、治療も進み、残りの通院回数はこれくらいになりました。

わたしたちは全力でサポートしていきます



患者さんごとの状態や治療の進捗状況に合わせた「パーソナライズド動画」をLINEメッセージとして送付すると、モチベーションを維持することでキャンセル率が下がり、リコール率が高まります。新しい「1to1コミュニケーション」について紹介します。



●話し手：

石井宏明氏

Ishii Hiroaki

東京都・医療法人社団ITS
理事長

●取材・文：編集部

次号予告

特集

DX化で 診療が変わる!

- ・DX化で患者管理、在庫管理、診療はこう変わる
- ・オンライン診療(小児、矯正)の実例

レポート

東京デンタルショー 2022 編集部
第5回 メディカル ジャパン(東京) 編集部

新連載

ときめき旬ホテル 保母美貴
無理しないお金講座 安田会計事務所

あの先生のライフスタイル

長縄拓哉(ムツ-株、歯科医師、医学博士)

編集後記 2025年までに整備が進む地域包括ケアシステムで、歯科医院と調剤薬局の役割が見直されつつあります。20世紀を通じ、歯科が医療のメインストリームにいなかったのは、端的に言う医療の中核を担う大病院に居場所がなかったからだと考えられます。保険制度上も、病院での治療・療養が主な対象で、中医協などの場でも歯科側委員はずっと黙っているのが一般的でした。

地域包括ケアシステムは、そうした病院中心の医療提供から、地域完結型に転換しようというもの。これは、「治す」ことを使命とする病院では、超高齢社会の医療ニーズに対応できないからだとされています。

これまでの病院中心の医療では狭く押し込まれていた歯科が、地域によっては想像もしないような活躍を期待されるかもしれません。そのためか、大規模な医療法人が近隣の歯科医院をグループに取り込む動きが加速しており、その一例を今回のレポートで取り上げました。

一方、調剤薬局への風当たりは厳しくなってきました。大病院に依存し、地域包括ケアシステムとは無関係に発展してきた「門前薬局」などは、「今後、存在意義を問われるのでは」(医師会関係者)といわれています。

実際の調剤業務が縮小した一方、患者さんへの説明、重複投与などの注意といった対人業務が拡大し、モノを扱う業務からの転換が迫られています。それをさらに進めて、コロナ禍で広がった検査関連業務を発展させた、健康チェックに関わる仕事への期待も広がっています。

具体的には、微小血液を検体にした健康チェックが、新たな市場として注目されるように。保険薬局経営者連合会の山村真一会長は「これからの調剤薬局は公衆衛生領域に活路を見いだしたい」と話しています。

歯科医院や歯科技工所も、地域包括ケアシステムの中で確固たる居場所を確保できるよう、健康増進分野での領域拡大が期待されるそうです。

(水谷惟紗久)

アポロニア²¹

12月号

2022年12月1日発行
通巻348号

●発行人
水野純治

●編集長
水谷惟紗久

●発行
株)日本歯科新聞社
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-15-2
[TEL] 03-3234-2475
[FAX] 03-3234-2477
http://www.dentalnews.co.jp
apolonia@dentalnews.co.jp

●印刷
三報社印刷株)

※落丁、乱丁はお取り換えします。
掲載記事の無断転載を禁じます。

●月刊『アポロニア21』の定価は、1冊2,090円(本体1,900円+10%税)です。年間購読は年間25,080円の前納制にてお願い致します(税・送料込、12月中のご注文までこの価格です)。当社ホームページのお申し込みフォーム、FAX、Eメール、またはお出入りの歯科商店でお申し込みください。

●取材のお申し込み
当社ホームページのトップページにある「取材の依頼・情報提供はこちら」というボタンから、「取材依頼・記事掲載 応募フォーム」にご記入ください。

●広告のお問い合わせ・お申し込み
株)マーケティング・
インターナショナル
〒160-0011
東京都新宿区若葉1-10
TEL: 03-3357-7707
FAX: 03-3357-7751

Webでもさまざまな
情報を発信中!

- ・ Twitter
- ・ Facebook ファンページ
- ・ YouTube チャンネル
- ・ note
- ・ Instagram